

ロックダウン型ウイルス対策ソフト

Trend Micro Safe Lock™

制御システム・組込機器などの特定用途端末、クローズド環境にある端末、
レガシーOS搭載端末をウイルスや目的外利用から守る

毎日の業務運用に必要な
アプリケーションだけを限定して動かす
“ロックダウン”により
パターンファイルに頼らない
ウイルス対策を実現します。



パターンファイルを使わない、
もう一つの守り方^{※1}

軽い^{※2}

脆弱性攻撃や
未知の脅威^{※3}から守る

かんたん導入

ロックダウンとは？

「システムの特定用途化」 システムの機能制限、リソース制御やアクセス制御などにより、特定の用途にのみシステムを使用できるようにすること

※1 ウイルス対策を行うためのパターンファイルは不要です。ただし、エージェントの事前検索や管理コンソールの代理ウイルス検索を利用する場合は、パターンファイルが必要となります。なお、事前検索時に使用する検索エンジンやパターンファイルは、エージェントインストール後に削除されます。※2 予め登録したアプリケーションのみ実行を許可することで端末を保護する仕組みのため、大容量のパターンファイルの読み込みや定期的なウイルス検索が必要な対策ソフトに比べ、パフォーマンスへの影響が軽微です。※3 全ての未知の脅威に対応するものではありません。

現場に潜む業務停止・信用失墜リスク、知っていますか？

制御システム



電気・ガス・水道の供給監視システム、生産ラインの生産制御システム、ビルの監視制御システムなど

パターンファイルを更新できていない生産ラインの監視端末がウイルス感染しライン停止、納期遅延に。

組込機器



POS、ATM、分析・検査装置、医療機器、工作機械、発券機、MFP、キオスク端末、デジタルサイネージなど

分析装置の端末がウイルス感染。当該装置を使った人を介して職場にウイルスが拡散。復旧に1週間を要す。

その他特定用途端末



勘定システム、営業店端末、ディーリングシステム、電子カルテ端末、航空管制システム、船舶搭載端末など

電子カルテ端末がウイルス感染。レスポンス低下、動作不良により業務の停滞が発生。

対象

被害事例

※被害事例はトレンドマイクロ調べ(2011年12月、2012年7月 インターネット調査を実施)

ウイルス対策上の課題

パターンファイルを利用したウイルス対策ソフトは、**パフォーマンスに影響を与えるため導入が困難**

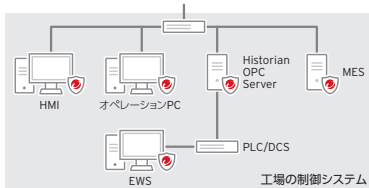
事前検証の必要性や、インターネット接続できない環境にあることから、**定期的なパターンファイル更新が困難**

レガシーOSを継続利用するため、脆弱性を利用したウイルス感染の被害に遭いやすい

Trend Micro Safe Lockが解決!

制御システム・組込機器を保護

パターンファイルを利用したウイルス対策ソフトに比べシステムパフォーマンスへの影響を抑えた対策が可能です。



■安全のPOINT■
TMSLをバンドルすることでウイルス感染から組込機器を守ります



クローズド環境にある端末を保護

パターンファイルが不要*1なため、インターネットに接続したり、手動でパターンファイルを更新したりする必要がありません。



スタンドアロン環境



クローズドネットワーク環境

レガシーOS搭載端末を保護

Windows2000/XP/Vista/Server 2003といったレガシーOSにも導入可能です。また、アプリケーション制御や脆弱性攻撃対策機能により、未知の脅威や脆弱性攻撃から端末を多層的に守ります*2。



Windows 2000 / XP / Vista
Windows Server 2003

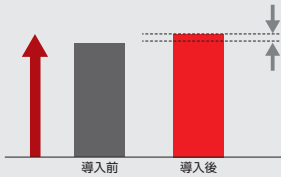
※1ウイルス対策を行うためのパターンファイルは不要です。ただし、エージェントの事前検索や管理コンソールの代理ウイルス検索を利用する場合は、パターンファイルが必要となります。なお、事前検索時に使用する検索エンジンやパターンファイルは、エージェントインストール後に削除されます。※2全ての未知の脅威に対応するものではありません。対応するOSについては、システム要件をご確認ください。

特定用途端末は、ロックダウンで守る!

製品特長

軽い

予め登録したアプリケーション(実行ファイル)のみ実行を許可することで端末を保護する仕組みのため、大容量のパターンファイルの読み込みや定期的なウイルス検索が必要な対策ソフトに比べ、パフォーマンスへの影響が軽微です。



脆弱性攻撃や 未知の脅威から守る

脆弱性を利用した攻撃を防ぐ機能により、ウイルスなどの不正侵入や不正実行を防止します。また、予め登録されていない実行ファイルの起動を防ぐことで、未知の脅威*や脆弱性攻撃から端末を多層的に守ります。



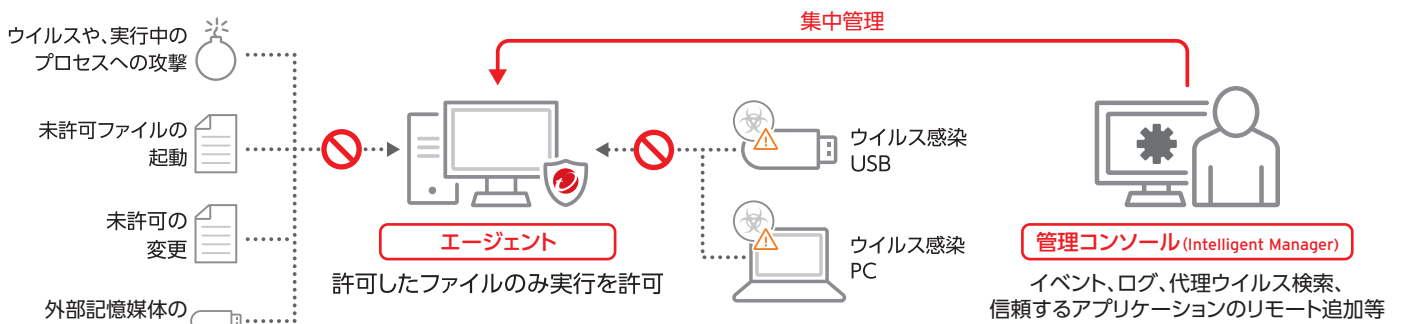
*全ての未知の脅威に対応するものではありません。

かんたん導入

インストール完了後、端末内の全ての制御対象ファイルを自動収集して許可リストに登録するため、エージェントをインストールしたシステムをそのままの状態ですべて特定用途化します。



製品イメージ



機能概要

エージェント

● アプリケーション制御 (ホワイトリスト)

許可リスト*に従ってアプリケーションの実行を制御します。「ブロック」と「検知のみ」の2種類の実行モードがあります。制御対象ファイルは、Exe、DLL、Driver、スクリプトファイルなどです。実行をブロックした場合、ポップアップ通知を行うことも可能です。
※対象ファイルのファイルパスとハッシュ値、またはデジタル署名を保持しています。



● 脆弱性攻撃対策

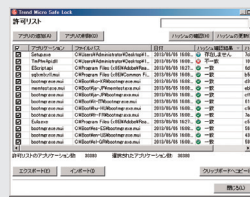
USB不正プログラム対策、ネットワークウイルス対策、DLLインジェクション対策、APIフッキング対策、メモリのランダム化といった機能により、ウイルス感染リスクや不正実行リスクを低減します。

● デバイスコントロール

端末に接続されているUSBメモリ、CD/DVDドライブ、ネットワークドライブなど外部記憶媒体へのアクセスを制限することが可能です。

● 許可リスト自動作成機能

GUIのガイダンスに従うだけで、制御対象の実行ファイルを自動収集し、許可リストへ登録することが可能です。



● 許可リスト管理

許可リストの手動編集機能、信頼するアップデータの事前指定機能、エクスポート/インポート機能、ハッシュ値確認機能、Windows Updateサポート機能、などを提供しています。

● 事前検索

エージェントをインストールする際、ウイルスが許可リストに追加されるリスクを低減するために、端末内のウイルス検索を行うことが可能です。

● 権限設定

管理者アカウントと制限付きユーザアカウントの2種類が用意されており、制限付きユーザアカウントが利用できる機能を制限することが可能です。

● ログ

本製品の連動動作ログを、Windowsイベントログに出力します。運用中、通知画面を表示しないため、システムの利用を阻害しません。

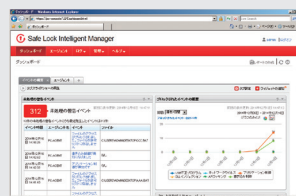
● 製品連携

本製品を搭載した端末において、スタンドアロン/クラウド環境向けウイルス検索・駆除ツール Trend Micro Portable Security 2™ (以下、TMPS2) を利用する際、TMPS2の実行ファイルを許可リストに追加することなくTMPS2を利用可能です。同様に、Trend Micro USB Security™ を搭載したUSBメモリも利用可能です。

管理コンソール (Intelligent Manager)※

● 集中管理

管理対象エージェントのアプリケーション制御機能やデバイスコントロール機能を制御したり、ログやステータスを、エージェント/グループ単位で一元的に閲覧することが可能です。また、エージェントの設定をエクスポート/インポートすることも可能です。



● 信頼するアプリケーションのリモート配信

管理コンソールから、信頼するアプリケーションの情報をエージェントの許可リストにリモートで配信可能です。

● 通知

管理対象エージェント上で発生したイベント(実行や書き込みなどのブロック)を管理者に通知(メール、SNMP、第三者アプリケーション連携)したり、大規模感染の可能性を通知したりすることが可能です。また、管理コンソールやエージェントのイベントログを、Syslogサーバに転送することも可能です。

● 代理ウイルス検索

実行をブロックされたファイルを管理コンソールでウイルス検索することが可能です。また当該ファイルへのアクションを設定可能です。

● アカウント管理

管理者アカウントの他に、アカウントの追加/削除以外の全ての操作が可能なアカウント、読み取りのみのアカウントをそれぞれ複数設定することが可能です。

※ Trend Micro Safe Lock スタンド標準のみでご利用いただけます。

お客様の環境に合わせて2形態で製品をご提供

Trend Micro Safe Lock™ スタンダード



エージェントと管理コンソールのセット
迅速な異常検知環境の構築、リモート監視、大規模導入など、エージェントだけでなく管理コンソールの機能を必要とする場合、こちらをご購入ください。

Trend Micro Safe Lock™ ライト



エージェントのみ
端末を個別に管理される場合、エージェントの機能のみ必要な場合は、こちらをご購入ください。管理コンソールはご利用いただけません。

当社標準価格(税別)

製品名	Trend Micro Safe Lock スタンダード for Client OS		Trend Micro Safe Lock スタンダード for Server OS	
	新規/追加	保守更新	新規/追加	保守更新
ライセンス数				
--24	16,300円	3,260円	106,200円	21,240円
25--49	13,200円	2,640円	85,910円	17,190円
50--99	13,000円	2,600円	84,610円	16,930円
100--249	11,400円	2,280円	74,230円	14,850円
250--499	11,100円	2,220円	72,220円	14,450円
500--999	10,100円	2,020円	65,730円	13,150円
1000--1999	9,000円	1,800円	58,530円	11,710円
2000--4999	6,700円	1,340円	43,550円	8,710円
5000--9999	5,000円	1,000円	32,570円	6,520円
10000--	3,800円	760円	24,670円	4,940円
最低購入数量	新規 3/追加 1	3	新規 1/追加 1	1
ライセンス対象	ハードウェア数(仮想マシンも1台として数えます)			

※Trend Micro Safe Lock ライトの価格が製品ページをご覧ください。

●エージェントの導入対象端末が利用しているOSに応じて、下記システム要件に記載のOS分類に従い、Client OS向けまたはServer OS向けの製品をご購入ください。●新規購入時に発行されるアクティベーションコード(以下、AC)は、当社規定の開始日より1年間に限り本製品をアクティベートすることが可能です。(アクティベートされた本製品は、管理コンソールの「通知」[「代理ウイルス検索」原因分析]の機能を除き、ACの有効期限に依存せず無期限でご利用可能です。)本製品の再インストール時など、ACの有効期限以降にACの再発行が必要な場合、本製品の使用許諾契約または保守更新契約期間中のお客さまに限り、法人カスタマーサイトの「オフライン用アクティベーションコード発行依頼フォーム」にて、ご依頼に応じてACを再発行致します。なお、再発行したACは発行した時点における使用許諾契約または保守更新契約期間中に限り本製品をアクティベート可能です。●別途ご契約中のTRSL(Trend Micro Reliable Security License)のランブは継承されません。●ライセンス対象とは、本製品のご購入にあたり、何をライセンス数として数えるかを示します。●新規および追加の標準価格は、1年間のスタンダードサポートサービス提供を含む1ライセンスあたりの使用許諾料金です。保守更新の標準価格は、スタンダードサポートサービスを1年間延長するための1ライセンスあたりの料金です。管理コンソールの「通知」[「代理ウイルス検索」原因分析]機能の継続利用、最新の脅威に対応するための当社指定のバージョンアップ、パッチなどのダウンロードや、ACの再発行サービスなどのサポートサービス継続をご希望の場合は、1年ごとに保守更新契約が必要です。●有効な使用許諾契約または保守更新契約を有しているライセンスが無い場合、追加購入はできません。●ライセンスを追加購入した場合、追加購入した分のライセンスの使用許諾契約期間は、元となる契約とは別途ご相談ください。●過去にTrend Micro Safe Lock for Clientをご利用されたお客さまは、当該製品の使用許諾契約または保守更新契約期間中に限り、Trend Micro Safe Lock スタンダード / ライト for Client OSに無償バージョンアップが可能です。同様に、Trend Micro Safe Lock for Serverの場合はTrend Micro Safe Lock スタンダード / ライト for Server OSに無償バージョンアップ可能です。移行に関する詳細については、製品ページをご確認ください。●使用許諾契約とは、本製品の使用許諾と1年間のスタンダードサポートサービスを提供する契約を示します。●保守更新契約とは、スタンダードサポート契約を示します。

システム要件(Trend Micro Safe Lock 2.0 SP1 Patch2)

※ Trend Micro Safe Lock スタンダードを使用する場合はエージェントと管理コンソールのシステム要件を、Trend Micro Safe Lock ライトを使用する場合はエージェントのシステム要件をご確認ください。

	エージェント		管理コンソール
	Client OS	Server OS	
OS	Windows 2000 (SP4) [Professional] (32bit) Windows XP (SP1/SP2/SP3) [Professional] (32bit) Windows Vista (SP1/SP2/SP2) [Business / Enterprise / Ultimate] (32bit) Windows 7 (SP1/SP1) [Professional / Enterprise / Ultimate] (32/64bit) Windows 8 (SP1) [Enterprise] (32/64bit) Windows 8.1 (SP1) [Enterprise] (32/64bit) Windows 10 (RS1/RS2) [Enterprise] (32/64bit) Windows XP Embedded (SP1/SP2) (32bit) Windows Embedded Standard 2009 (SP1) (32bit) Windows Embedded Standard 7 (SP1) (32/64bit) Windows Embedded 8 Standard (SP1) (32/64bit) Windows Embedded 8.1 Pro (SP1) (32/64bit) Windows XP Professional for Embedded Systems (SP1/SP2/SP3) (32bit) Windows Vista for Embedded Systems (SP1/SP2/SP2) (32bit) Windows 7 for Embedded Systems (SP1/SP1) (32/64bit) Windows Embedded POSReady (32bit) Windows Embedded POSReady 2009 (32bit) Windows Embedded POSReady 7 (32/64bit) Windows 10 IoT (RS1/RS2) [Enterprise] (32/64bit)	Windows 2000 Server (SP4) (32bit) Windows Server 2003 (SP1/SP2) [Standard / Enterprise / Storage] (32bit) Windows Server 2003 R2 (SP2/SP2) [Standard / Enterprise / Storage] (32bit) Windows Server 2008 (SP1/SP2) [Standard / Enterprise / Storage] (32/64bit) Windows Server 2008 R2 (SP2/SP1) [Standard / Enterprise / Storage] (64bit) Windows Server 2012 (SP1) [Essentials/Standard] (64bit) Windows Server 2012 R2 (SP1) [Essentials/Standard] (64bit) Windows Server 2003 for Embedded Systems (SP1/SP2) (32bit) Windows Server 2003 R2 for Embedded Systems (SP1/SP2) (32bit) Windows Server 2008 for Embedded Systems (SP1/SP2) (32/64bit) Windows Server 2008 R2 for Embedded Systems (SP1/SP1) (64bit) Windows Server 2012 for Embedded Systems (SP1) (64bit) Windows Server 2012 R2 for Embedded Systems (SP1) (64bit)	Windows XP (SP2/SP3) [Professional] (32bit) Windows 7 (SP1/SP1) [Enterprise / Ultimate] (32/64bit) Windows 8 (SP1) [Enterprise] (32/64bit) Windows 8.1 (SP1) [Enterprise] (32/64bit) Windows 10 (RS1/RS2) [Enterprise] (32/64bit) Windows Server 2003 (SP1/SP1) [Standard / Enterprise / Storage] (32/64bit) Windows Server 2003 R2 (SP1/SP2) [Standard / Enterprise / Storage] (32/64bit) Windows Server 2008 (SP1/SP2) [Standard / Enterprise / Storage] (32/64bit) Windows Server 2008 R2 (Standard / Enterprise / Storage) (SP1/SP1) (64bit) Windows Server 2012 (SP1) [Essentials/Standard] (64bit) Windows Server 2012 R2 (SP1) [Essentials/Standard] (64bit) Windows Server 2012 R2 for Embedded Systems (SP1) (64bit)
データベースサーバ	N/A		Microsoft SQL Server 2008以降 ^{※1}
ブラウザ	N/A		Microsoft Internet Explorer 9.0, 10.0, 11.0 Google ChromeもしくはGoogle Chrome Portableの最新版 Mozilla Firefox 6以降
その他コンポーネント	N/A		Microsoft Internet Information Services (IIS) 5.1以降 ^{※2} .NET Framework 2.0 SP2以降 ^{※2}
CPU	OS最小要件に準ずる		OS最小要件に準ずる
メモリ	OS最小要件に準ずる		2GB以上
HDD空き容量	300MB以上		10GB以上
ディスプレイ解像度	VGA (640×480)以上 16色以上		XGA (1024×768)以上 65536色以上

※1 管理コンソールインストール時に、Microsoft SQL Server 2008 Expressをインストールすることも可能です。※2 環境欄に必要なバージョンが異なります。詳細は、製品ページに記載のシステム要件をご確認ください。

64bit OSでは脆弱性攻撃対策機能の一部(メモリのランダム化、DLL インジェクション対策、API フック対策)は動作しません。Windows Embedded に関して、お客さまにて OS コンポーネントのカスタマイズを行っている場合、当該環境のみで発生し、通常のカスタマイズをしていない環境にて再現しない障害に関しては、製品のサポートを致しかねる場合がございます。OS の機能やロード/アンロード製品によりフォルダの暗号化やアプリケーションの仮想化などを実施している場合、そのフォルダ配下のアプリケーションはサポート対象外です。英語 OS 上へ日本語言語パックをインストールした環境での日本語版利用には一部文字化けする可能性があります。また、本環境に依存する障害に関しては、製品のサポートを致しかねる場合がございます。その他、制限事項の詳細については、製品ページにて公開されているReadmeファイルをご確認ください。システム要件に記載されているOSの種類やハードディスク容量などは、OS のサポート終了、弊社製品の改良などの理由により、予告なく変更される場合があります。Safe LockエージェントがWindows Vistaよりも古い環境にインストールされている場合、Windows Updateサポート機能は使用できません。Windows Updateサポート機能で、以下のWindowsの更新プログラム (KB) などを適用する際、ドライバファイルなどの一部のファイルが適切に許可リストに追加されない場合があります。(KB2662330、KB3110329、一部の.NET Frameworkが適用されている場合)
Windows Updateサポート機能を使って、WindowsのService Packなどの規模の大きい更新ファイルを適用する場合、一部のファイルが適切に許可リストに追加されない場合があります。Trend Micro Safe Lockをインストールする前に、WindowsのService Packを適用することを強く推奨します。

注意事項

- 本製品の導入により、他のアプリケーションの動作へ影響を与える恐れがございますので、機能性やパフォーマンスなどの動作検証を事前に実施された上で、ご購入ください。検証的にご利用可能な体験版は、当社Webサイトにて一般に公開しております。
<http://www.go-tm.jp/tmsl>
- 本製品は、他のトレンドマイクロ製品と同一環境にインストールすることはできません。
- Trend Micro Safe Lock ライトに限り、本製品にて起動をブロックされたファイルがウイルスかどうかは本製品では確認できません。当該ファイルの開発元へ正規ファイルかどうかをご確認ください。ウイルス検索・駆除の必要がある場合は、スタンダード/クロード環境向けウイルス検索・駆除ツールTrend Micro Portable Security 2 (以下、TPMS2)を別途ご購入の上、ご利用ください。(TPMS2のサポートOSについては、TPMS2のシステム要件をご確認ください)
- OSの基本動作に必要なアプリケーションを許可リストに登録することなくシステムロックし、OSを再起動した場合、OSが正常に起動しなかったり、OSにログインできなくなる可能性があります。この場合、システムロックの解除など本製品の操作が一切できないため、OSの再インストールが必要となりますので、十分ご注意ください。(OSや他のアプリケーションのアップデートをする場合は、更新されたファイルを許可リストへ登録してください。)
- システムロック後、管理者パスワードを忘れた場合、本製品の設定変更やインストールなどの操作は一切行えません。この場合、OSの再インストールが必要となりますので、十分ご注意ください。
- 最新の脅威に対応するため、必要に応じて製品のアップデートが必要となる場合がございます。最新版は、有効な保守更新契約※を保持しているお客さまに対し、当社Webサイト/法人カスタマーサイトにて配布されます。なお、他のアプリケーションの動作へ影響を与える恐れがございますので、機能性やパフォーマンスなどの動作検証を事前に実施された上で、本製品のアップデートを行ってください。
※保守更新契約とは、スタンダードサポート契約を示します。

製品に関する詳細はこちら ▶ <http://www.go-tm.jp/tmsl> 体験版無償提供中



東京本社
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿マインスタワー
TEL.03-5334-3601 (法人お問い合わせ窓口) FAX.03-5334-3639

名古屋営業所
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-22-24 名古屋校通ビル7階
TEL.052-955-1121 FAX.052-963-6332

大阪営業所
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮崎3-4-30 ニッセイ 新大阪ビル13階
TEL.06-6350-0330 (代表) FAX.06-6350-0051

福岡営業所
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-3-7 シティ21ビル7階
TEL.092-471-0562 FAX.092-471-0563

www.trendmicro.com

TREND MICRO, Trend Micro Portable Security, Portable Security, Trend Micro USB Security, および Trend Micro Safe Lock は、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。各社の社名、製品名、およびサービス名は各社の商標または登録商標です。本ドキュメントは2016年2月現在の情報をもとに作成されたものです。内容は予告なく変更される場合があります。Copyright © 2016 Trend Micro Incorporated. All rights reserved.

お問い合わせ先